

開講科目名 Course	企業法研究演習 1 年 / Seminar on Corporation LawI
時間割コード Course Code	17203
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	月 / Mon 4
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	美濃羽正康
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	担当者研究室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	美濃羽正康 (法学部)
授業の目標	受講生の研究計画に関連する会社法の基礎について確認しながら、修士論文作成につながる研究指導を行う。
授業の概要	この演習は、対面方式で行う。受講生には、毎週課題発表をしてもらい、ディスカッションをしながら、より専門的な知識や思考方法を習得してもらう。
評価方法	演習における課題発表とレポート課題で評価する。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし
授業計画	第1回目で、研究計画について発表してもらい、大まかな研究スケジュールを作成する。その後、適宜、課題発表とディスカッションを繰り返し、研究テーマに関する理解力、課題発見力を養う。加えて、論文作成のために必要な日本語力や知識や、技術等について学習する。
テキスト	参考文献を適宜、指定する。
参考書	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含む
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	研究報告方式で行い、ディスカッションを繰り返し行う。
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	演習の時間内に受け付け、質問事項についての理解を深めるための文献資料を紹介する。
フィードバックの方法	研究発表、レポートについて、課題や問題点を指摘し、修正・訂正のヒントを提示する。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	発表準備と発表後のレポート作成に、相当の時間を要する。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標 (1～10)	
SDGs 17の目標 (11～17)	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	